

令和5年度 小川幼稚園
教職員自己点検・自己評価結果報告書

小川幼稚園長 浅沼成之

令和5年度小川幼稚園教職員自己点検・自己評価結果報告書

今年度も年3回の自己点検自己評価を実施し、1学期と2学期の点検を基に評価を取り纏めた。評価点検項目は、昨年同様とした。前年度までの反省点や学校関係者評価委員会からの指摘や意見を職員間で共有し、今年度の教育計画に反映させた。

新型コロナウイルス感染症の位置付けも第5類に引き下げられ、コロナ禍前の園生活を取り戻すことが出来た。しかしながら集団での生活を経験したことが無い幼児の受入れは、想像以上に苦労の連続であった。さらに前年度末で職員1名の退職後新たな補充が出来ず、人員不足のまま年度をスタートすることになり、年少児のクラスに満足いく補助が行えなかった。また、満3歳児クラスの担任も正規職員より任命する事が出来ず、パート職員2名が時間を調整しながらクラス経営を担っていた。人員の確保を行いたいが、保育士不足と幼稚園教諭を敬遠する傾向が重なり、思うように人材の確保が進まなかった。このような中でも職員一同が支え合いながら無事に一年間を終えることが出来た。

昨年度までの課題であった会議の運営や、業務の効率化については、全職員へ mobile パソコンを貸与したことにより、大幅に改善された。特に行事関係の打合せ事項は、事前に担当が基本案を練り、クラウド上で共有することにより、時間の短縮と作業効率の向上に繋がった。これにより各職員の負担が軽減され、退勤時間の大幅な改善となった。

令和4年度に起きた給食提供による重大事故をうけ、二度と同じ過ちを起さないように給食委員会を立ち上げ、委託側と受託側が常に連携を取りながら、安全で安定した給食の提供に努めることが出来た。次年度も給食員会を中心に安全管理に努めていきたい。

教員11名の自己評価・自己点検を第1学期、第2学期の2回実施し、下記のとおり結果を取り纏めた。

令和6年2月

小川幼稚園長 浅沼成之

○ 令和5年度の自己点検・自己評価を学期末毎に実施し、下記のとおり纏めた。

- ・実施時期 1学期と2学期終了後に実施(年2回)
- ・評価の点数 評価をa～dの4段階に分ける
(a達成 bほぼ達成 c一部検討を要する d要改善)
a…3点 b…2点 c…1点 d…0点
- ・評価の方法 20点以上…A評価 19点～15点…B評価
14点～10点…C評価 10点以下…D評価
- ・対象職員数 11名

○教育課程の編成と実施に関する評価

項目	点検内容	a	b	c	d	点数	評価
教育目標	目標は園や地域の特色を生かしているか	3	7	1	0	24	A
	目標は前年度の反省を生かしているか	0	9	2	0	20	A
	目標は教職員全員で共通理解をしているか	1	9	1	0	22	A
指導	指導計画が幼児の実態にそくしているか	2	8	1	0	23	A
	教材・教具を適切に活用しているか	2	8	1	0	23	B
	評価結果を基に指導の改善に努めているか	1	9	1	0	22	B
教育計画	行事の種類や実施回数は適切か	0	10	1	0	21	B
	ねらいを計画や実施に生かしているか	0	8	2	0	18	B
	自主的・実践的な活動に配慮しているか	1	8	2	0	21	A

○教育課程の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	点検内容	a	b	c	d	点数	評価
情報	個人情報適切に管理されているか	0	7	4	0	18	B
	公文書收受、発送、処理は適切に行われているか	5	6	0	0	27	A
	各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理されているか	4	5	2	0	24	B
施設・設備	園舎園地の設備・備品の安全点検を計画的に行っているか	6	5	0	0	28	A
	遊具・用具・教具等を、活用しやすいように整理、保管しているか	2	6	3	0	21	A
	不審者対応等の対策は万全であるか	1	7	3	0	20	A
保幼小連携 保幼連携等	他校種との年間交流計画は保育目標に沿っているか	1	6	4	0	19	B
	指導者同士が交流や合同研修の場を設け、互いの教育に対する理解を深めているか	2	7	1	1	21	A
	日常的に情報の交換が行われているか	1	4	6	0	15	B

分掌・運営	職員の配置は、適材・適所であるか 係や仕事の分担・割り当ては適切か						
	各種会議を適切かつ効率的に進めているか	0	7	2	2	16	B
	打合せ回数・時間・内容は適切か	0	7	3	1	18	B
クラス経営	学年・学級目標は、幼児の実態に即しているか	1	8	2	0	21	A
	学年・学級目標のねらいは適切か	1	9	1	0	22	A
	評価、資料を集積しているか	1	8	2	0	21	A
保健・安全指導	避難訓練、交通安全指導は、計画に基づいて適切に実施しているか	3	8	0	0	25	A
	健康や安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭へ啓発を行っているか	3	7	1	0	24	A
	安全確保のため関係機関との連携をとれているか	2	8	0	0	22	A
研究・研修	研究主題は、保育・教育目標の具現化につながるものか	3	6	1	1	22	A
	園内研修の計画、運営は適切か	2	7	2	0	22	A
	各種研修会への参加体制の充実を図っているか	1	6	3	1	18	B
	研修会で得た内容は、園内に還元しているか	0	6	4	1	16	B
子育て支援	地域の子育てセンターとして、園庭等を開放しているか	4	6	1	0	25	A
	地域の実態を捉え、計画的な預かり保育を実施しているか	0	8	3	0	19	B
	教職員による子育て相談は充実しているか	1	6	4	0	19	B
情報の発信	学年だよりやホームページを活用し、園の情報を発信しているか	1	8	2	0	21	A

● 自己評価を終えて職員からの意見

【教育目標】

- ・学年毎の目標だけではなく、園全体として軸となる目標を定め、そこから各学年の目標やクラス経営目標を決めたほうが良いと思う。

【指導・教育計画】

- ・コロナ禍で家庭に籠って生活をしてきた幼児が多いため、人と関わる経験が少なく集団での生活に馴染めず苦労している子が多く、指導、教育計画を立てるのに苦労した。

- ・ねらいは毎学期後に反省を行えているが、教育要領との照らし合せができていない。

【情報・施設設備】

- ・職員室や給湯室等の改修により、使い勝手がよくなり気持ちよく仕事が出来た。
- ・北館園舎の老朽化が目立つ。特に保育室の棚の破損が気になる。

【保幼小連携】

- ・コロナ禍が明け、今年度は焼津市立黒石小学校の児童が園を訪問し園児と交流を持つことが出来た。また、年長の保護者懇談会に校長先生から就学後の学校生活について詳しく話を聞く機会を設けたことは良かった。

【分掌・運営】

- ・園行事に関する打合せが後回しになることが多く、保護者への周知がいつも間際になるのは困る。
- ・園長先生が本山に行くことが多く、打合せがなかなか出来ない。副園長先生を中心に話を進めたいが、なかなか決裁をしてくれないためいつも困る。
- ・その日の気分で言うことが違う職員がいる。職場内をかき回すのは止めてもらいたい。

【クラス経営・研究研修】

- ・異年齢の活動が多く持てたことは良かった。
- ・今年度は、焼津市の乳幼児課題検討部会で発表する機会があり、研修担当の先生を中心に資料を纏め発表することができた。

【保健・安全指導 情報発信】

- ・給食委員会で話した内容を職員間にも共有してもらいたい。
- ・園児が幼稚園正門の鍵を開け、外に出そうになったことがあるので、正門の施錠について検討してもらいたい。
- ・園で保健・安全指導をしても、保護者の理解や協力を得られない場合がある。

【子育て支援】

- ・預かり保育の利用制限を設けてもらいたい。人数が多く受け入れる先生の負担が大きい。
- ・伊藤カウンセラーのカウンセリング回数を増やしてもらいたい。

○自己評価・自己点検を終えて令和6年度への課題と据えた重点事項

- ・建学の精神と5つの教育目標達成のために、令和6年度より毎年教育目標を立て、目標達成に向け全職員で取り組んで行く。
- ・更なる園内研修の充実を図り、習得した知識や技能を保育現場に活かし、より良い教育、保育の提供に努める。
- ・リモート会議の環境整備を進め、園長が総本山出仕中でも全体会議が開けるように努めていく。また、年中行事の決定に係る決裁権の一部を副園長に委任する。
- ・園児の飛び出しを未然に防ぐため、正門電子錠の改修工事に併せ、ICカードキーを導入して防犯対策を強化する。
- ・今後も学区小学校との幼小連携を深め、スムーズな就学に向けた支援を行う。
- ・少子化や静岡県経常費補助金の目減り等の対策として、施設型給付を受ける幼稚園へ移行も視野に入れて、幼稚園の安定的な経営基盤を作る。
- ・県私幼協会が主催する就職フェアへブースを出展し、保育者確保に向けた採用活動を展開し、保育者の確保に努めていく。

以 上